

## 10 消耗部品の交換方法

日々の作業を安定して能率的に行うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧めいたします。

以下の「消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

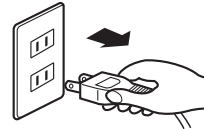
**警告** 消耗部品の交換やメンテナンスを行う時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、作業を行ってください。プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。

**警告** 取扱説明書に記載されている「消耗部品の交換方法」以外の間違った方法で交換すると機械が正常に働かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります

**警告** 消耗部品は必ず弊社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。



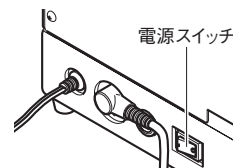
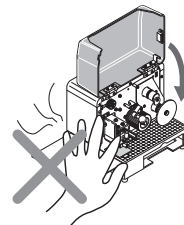
必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください



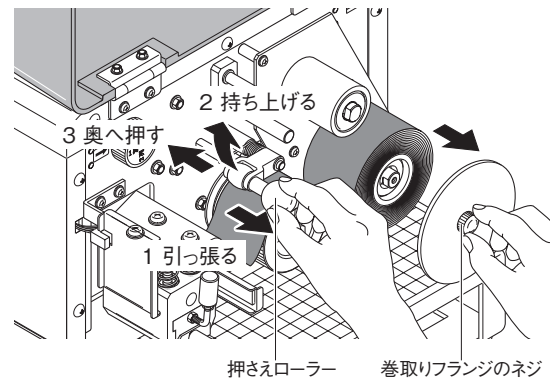
### 10-1 プリントテープの交換

**警告** プリントテープを交換する時は、電源スイッチをOFFにして活字及び印字ヘッドが十分に冷えてからプリンターカバーを開けて交換作業を行ってください。熱い時に活字交換作業を行うと火傷をする危険性があります。

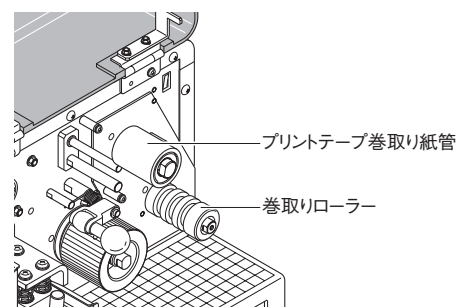
1 機械前面に向かって左側にある電源スイッチをOFFにしてください。



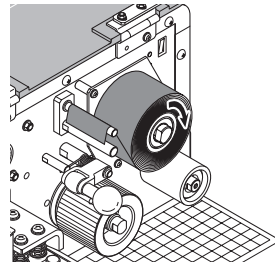
2 プリンターカバーを開け、巻取りフランジのネジを回して取り外し、押さえローラーを右イラストのように引っ張り、上に持ち上げ、奥へ押しと押さえローラーが固定されます。巻取られたプリントテープを取り外してください。



3 送り出しローラーに残ったプリントテープ巻取り紙管は取り外して、巻取りローラー側に取り付けてください。

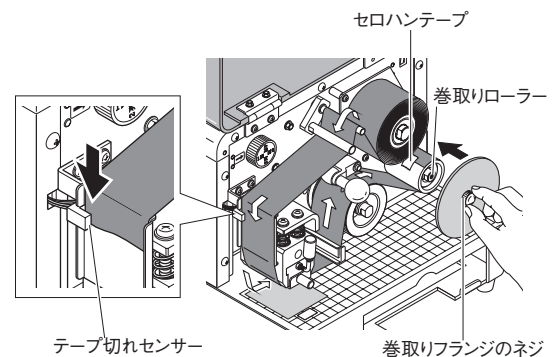


- 4 送り出しローラーには、新しいプリントテープを取り付けてください。



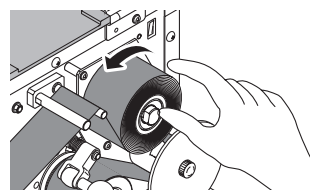
- 5 新しいプリントテープを右イラストの順にセットし、先端をプリントテープ巻取り紙管にセロハンテープなどで貼り付けます。

**注意** 「テープ切れセンサー」でプリントテープを感知していますので、プリントテープは、必ず「テープ切れセンサー」の間を通るように取り付けてください。



- 6 巻取りフランジをネジを回して巻取りローラーに取り付けてください。

- 7 右イラストのように手でプリントテープを回してプリントテープのたるみをなくしてください。

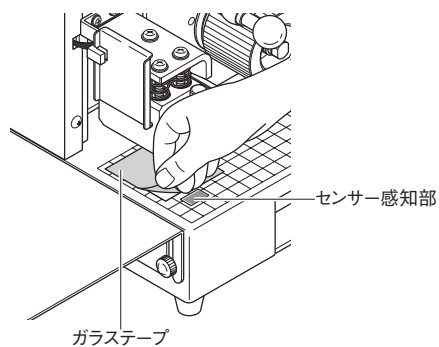


- 8 2で上に持ち上げた押さえローラーを手前に引き、元の位置に戻してください。

## 10-2 印字受けゴムの交換

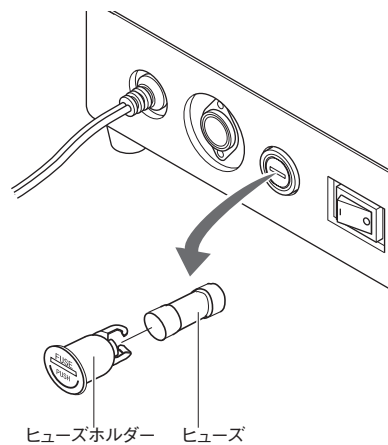
印字受けゴムの上に貼り付けているガラステープを取り、印字受けゴムを交換してください。

**注!** センサーが正しく機能しなくなりますので、新しい印字受けゴムを取り付け、ガラステープを貼る時は、ガラステープがセンサー感知部に被らないように貼ってください。



## 10-3 ヒューズの交換

機械前面に向かって左側にあるヒューズホルダーを回して取り外してください。ヒューズホルダーからヒューズを取り外し、新しいヒューズをセットしてヒューズホルダーが取り付けられていた元の位置に取り付けてください。

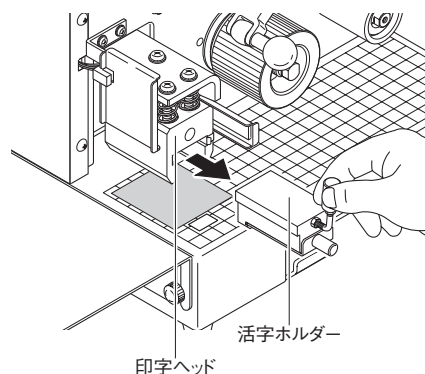


## 10-4 活字の交換

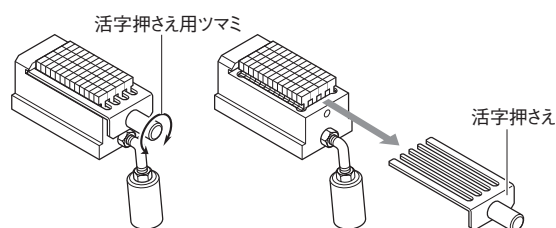
活字は単品販売、セット販売しています。

**警告** 印字作業後に活字を交換する場合は、印字ヘッドが高温になっていますので電源スイッチをOFFにして十分に冷えてから交換作業行ってください。

- 1 プリンターカバーを開けて、印字ヘッドより活字ホルダーを引き出してください。



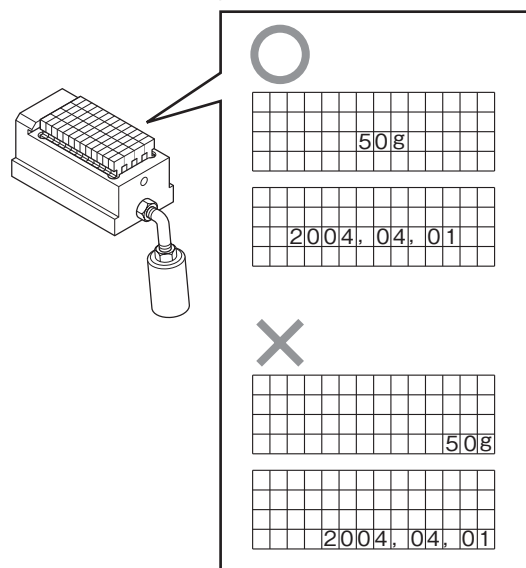
- 2 活字ホルダーの活字押さえ用ツマミを緩めて、活字押さえを引き出してください。  
活字押さえを取り外すと活字の着脱が可能になります。



- 3 活字を変更してください。

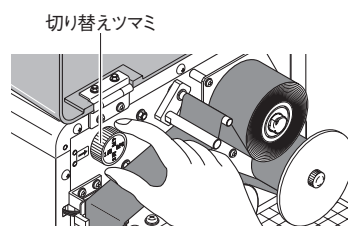
**注!** 少ない活字をセットする場合は出来るだけ中央寄りに取り付けてください。  
印字しない部分には、必ずスペーサーを入れてください。  
活字が上下、左右いずれかに片寄ると印字不良の原因になります。

例) 「50g」・「2004.4.1」の活字をセットする場合



- 4 活字の変更(交換)が終わりましたら活字押さえを印字ホルダーに装着し、活字押さえ用ツマミで締め付け固定してください。
- 5 活字ホルダーを元の位置に取り付けてください。

- 6 活字の列数を変更した場合は、切り替えツマミを設定した列数にあわせてください。



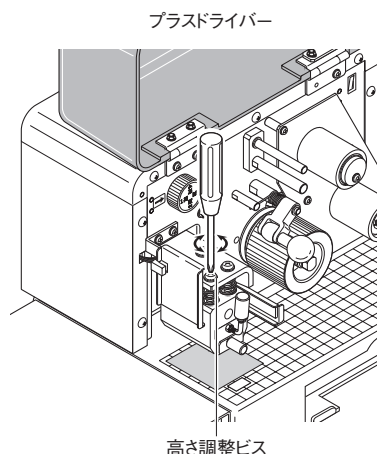
## 11 活字高さの調整

活字の高さ調整は日々のメンテナンスで必要となります。下記をよくお読みいただき、発生している状態に適した調整作業を行ってください。

**警告** 取扱説明書に記載している以外の間違った方法で調整するとたいへん危険です

**警告** 活字の高さ調整は、電源が ON の状態でないと印字状態が確認できませんので火傷に充分注意して作業を行ってください。

印字ヘッドの高さが左右や上下で異なると、左右や上下のどちらか一方だけかすれたり、濃すぎたりする場合があります。



■ 部分的に印字がうすく、かすれる  
 印字がうすく、かすれる箇所の高さ調整ビスをプラスドライバーで左に回し、活字を下げてください。

■ 部分的に印字が濃い、印字のあとがへこんでいる  
 印字が濃い箇所の高さ調整ビスをプラスドライバーで右に回し、活字を上げてください。

■ 全体的に印字が濃く、文字の細かい部分がつぶれて埋まっている  
 「8-8-2-1 印字温度の設定」「8-8-2-2 印字濃度の設定」をご覧ください、印字温度の調整、印字濃度の調整を行ってください。

製造年月日 03.12.12  
 賞味期限 03.12.22  
 NET 1000g

印字がうすい場合は  
 緩める

印字が濃い場合は  
 締める